



1



2



3



4



5



6



7



東方横綱の「火炎龍」柴田輝隆くん

大相撲有屋場所

有屋小閉校記念相撲行事

6月26日、令和3年度有屋小閉校記念相撲行事が多く地域の住民の皆さんに見守られながら開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、相撲の取組は叶いませんでしたが、25名の児童たちが手づくりの化粧まわしを身にまとい堂々と土俵入り。行事・呼び出しなども、練習してきた成果を立派に披露しました。

有屋小学校の校舎の中庭に土俵が造成されたのは昭和56年。今から40年以上前になります。それから7年後「子どもたちのために屋根をかけてあげたい」という声から、有屋地域の方々が関わり、現在の屋根付きの立派な土俵が出来上がりました。長い間、有屋小学校の相撲場は、地域の



力強い四股をみせた「雷電王」矢口敢太くん

ふれあいの場として活躍してきました。この場所で相撲をとった人もたくさんいるのではないのでしょうか。

思い出深い相撲場で、子どもたちは成長した姿を見せてくれました。横綱の土俵入りや弓取り式では、何度も拍手が湧き起こり地域の方々の中には、時折ハンカチで目元を押さえる姿もありました。児童たちのたくましく成長した姿は、地域の方々の心に焼き付いたことでしょう。有屋小学校は今年度で閉校しますが、有屋魂はこれから先もずっと未来に残っていきます。



8



9



10



行事を締めくくった「炎雷電」矢口竜士くん